

「六ヶ所・核燃料サイクルセミナー」の開催について

内外の専門家より核燃料サイクルのバックエンドにおける放射性廃棄物の分離・変換に関する最新の技術成果や課題、研究戦略を報告するとともに、資源と廃棄物、リサイクルの意義、社会的受容性など、幅広い視点から議論をしていただき、今後の分離変換研究のあり方について忌憚のないご意見をいただくことを目的に添付資料のとおりセミナーを開催する。

記

- 1.開催期間：平成26年7月18日（金）
- 2.開催場所：スワニー六ヶ所村文化交流プラザ
- 3.参加者：100名程度（元日本経済新聞 論説委員他）
- 4.添付資料：六ヶ所・核燃料サイクルセミナー プログラム
参加申込書
「六ヶ所・核燃料サイクルセミナー」の開催について

以上

六ヶ所・核燃料サイクルセミナー
“放射性廃棄物の分離・変換・利用・資源化戦略”
(案)

- 主催：日本原子力研究開発機構
共催：東京工業大学原子炉工学研究所、東北大学大学院量子エネルギー工学専攻
協賛：日本原燃株式会社（予定）、原子力バックエンド推進センター
後援：青森県（予定）、六ヶ所村（予定）、日本原子力学会東北支部（予定）
日時：平成 26 年 7 月 18 日（金）13:00-17:55（第Ⅰ部）、18:00-19:30（第Ⅱ部）
（午前：むつ小川原国家石油備蓄基地見学（希望者））
開催場所：六ヶ所村文化交流プラザ『スワニー』 大会議室
（第Ⅰ部・セミナー；第Ⅱ部・懇親会/ポスターセッション）
参加費：第Ⅰ部；無料 第Ⅱ部；4,000 円（学生 2,000 円）

開催趣旨

エネルギーの安定的な確保は、我が国の安全保障にとって不可欠であり、常に大きな課題であり続けている。今年 4 月に策定された「エネルギー基本計画」の中で、使用済燃料については、適切に処理・処分を進め、長期的なリスク低減のため、その減容化・有害度低減が重要であり、具体的には、放射性廃棄物中に長期に残留する放射線量を少なくし、放射性廃棄物の処理・処分の安全性を高める技術等の開発を推進するとしている。

放射性廃棄物の処理・処分に係るバックエンド対策として、放射性廃棄物の処理・処分の放射能低減と環境負荷軽減を目的とし、再処理プロセスの高度化により使用済燃料に含まれるウラン、プルトニウムだけでなく更に重い元素であるマイナーアクチノイド（MA）等を分離・核変換（再度燃焼）することによる長寿命放射性核種の分離変換技術に関する基盤研究を進めている。

今回、核燃料サイクルの中心地である六ヶ所村で開催するセミナーでは、内外の専門家より核燃料サイクルのバックエンドにおける放射性廃棄物の分離・変換に関する最新の技術成果や課題、研究戦略を報告するとともに、資源と廃棄物、リサイクルの意義、社会的受容性など、幅広い視点からの議論を踏まえ、今後の分離変換研究のあり方について忌憚のないご意見を頂くことを目的とする。

第 I 部 講演

- 総合司会； 高橋 邦明（原子力機構）
開会挨拶（13：00-13：10） 野村 茂雄（原子力機構 理事）
新堀 雄一（東北大学 教授）
来賓挨拶（13：10-13：30） 奥村 智之（青森県 エネ局次長）
古川 健治（六ヶ所村 村長）

【特別講演】国家原子力戦略（バックエンド対策）に関する話題

- (1) 「わが国のバックエンド政策と研究開発」（仮題）（13：30-13：50）
西田 亮三（文部科学省 放射性廃棄物企画室長）
(2) 「サイクル・バックエンドの課題と展望」（13：50-14：10）
齊藤 正樹（東京工業大学 名誉教授 特命教授）
(3) 「フランスのバックエンド政策」（14：10-14：30）
ティボー・クレマン（仏国大使館 原子力参事官補佐）

【基調講演】

- (1) 「技術の親和性について」（14:30-15:00）
鳥井 弘之（元日本経済新聞 論説委員）
休憩（15:00-15:10）

【放射性廃棄物の分離・変換・利用・資源化戦略】

座長：新堀 雄一（東北大学 教授）

- (1) 「東北大学六ヶ所村分室における新原子力研究分野の開拓」・・・（15:10-15:50）
・含浸吸着材による高レベル放射性廃液の核種分離プロセス
金 聖潤（東北大学 准教授）
・放射線高度利用を目指した新しい半導体検出器の開発
人見 啓太郎（東北大学 准教授）
(2) 「元素変換～原子力利用のコペルニクスの転回～」（15:50-16:20）
小澤 正基（東京工業大学大学院 教授）

座長：小澤 正基（東京工業大学大学院 教授）

- (3) 「分離変換（ADS 階層型）技術開発の現状」（16:20-16:50）
森田 泰治（原子力機構 原子力基礎工学研究センター 副センター長）
(4) 「マイナーアクチノイド（MA）の分離変換」（16:50-17:10）
中村 博文（原子力機構 福島燃料材料試験部 部長）
(5) 「新型溶融炉の開発－実規模モックアップ試験」 （17:10-17:30）
吉岡 正弘（日本原燃株式会社 ガラス固化施設部 部長）

【トピック】

- (1) 「放射線に関する分子生物学的研究」（17:30-17:50）
大川 あおい（日本立地センター/東工大）

閉会挨拶（17:50-17:55） 菊池 三郎（原子力バックエンド推進センター理事長）

第 II 部（懇親会 / ポスターセッション）（18：00- 19：30）

司会進行： 庄子 邦明（原子力機構）

宛名： 独立行政法人日本原子力研究開発機構 六ヶ所・核燃料サイクルセミナー 事務局

FAX 番号： 029-282-6982

六ヶ所・核燃料サイクルセミナー
放射性廃棄物の分離・変換・利用・資源化戦略

参加申込書

申込日： 平成 年 月 日

1. 所属（企業名）	
2. 氏名 ※参加される方が複数の場合は裏面に記入してください	（代表者の方の連絡先）電話番号または E-Mail アドレス： _____
3. 施設見学会への参加	（どちらか一方に○を付けてください） 参加する ・ 参加しない
4. 昼食 お弁当（お茶付き） 有料：800円	（どちらか一方に○を付けてください） 必要 ・ 不要
5. 懇親会への参加	（どちらか一方に○を付けてください） 参加する ・ 参加しない
6. ポスター発表	（どちらか一方に○を付けてください） 有 ・ 無 ※発表を希望する場合は、要旨を添えて申し込みください。

お手数ですが、7月9日（水）までに申し込みいただければ幸いです。

お電話の場合

【セミナー事務局】（担当：北嶋、広瀬）

電話番号：029-287-9675

受付時間：9:00～17:30（土曜日、日曜日、祝祭日を除く）

E-mailの場合

お申込み内容を入力した申込書ファイルを E-mail に添付し、【セミナー事務局】へ送付してください。

E-Mail：be-cycleseminar@jaea.go.jp

※個人情報の取扱いについて

個人情報につきましては、当セミナーを実施する目的以外に使用いたしません。

■参加される方が複数の場合は、こちらに記入をお願いいたします。

氏名	施設見学会への参加	昼食 お弁当 (お茶付き)	懇親会への参加
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない
	する・しない	必要・不要	する・しない

※個人情報の取扱いについて

個人情報につきましては、当セミナーを実施する目的以外に使用いたしません。

「六ヶ所・核燃料サイクルセミナー」の開催について

放射性廃棄物の処理・処分に係るバックエンド対策として、放射性廃棄物の処理・処分の放射能低減と環境負荷軽減を目的とし、再処理プロセスの高度化により使用済燃料に含まれるウラン、プルトニウムだけでなく更に重い元素であるマイナーアクチノイド（MA）等を分離・核変換（再度燃焼）することによる長寿命放射性核種の分離変換技術に関する基盤研究を進めている。

本セミナーは、「放射性廃棄物の分離・変換・利用・資源化戦略」を副題とし、昨年に引き続き、核燃料サイクルの中心地である六ヶ所村で開催する。内外の専門家より核燃料サイクルのバックエンドにおける放射性廃棄物の分離・変換に関する最新の技術成果や課題、研究戦略を報告するとともに、資源と廃棄物、リサイクルの意義、社会的受容性など、幅広い視点から議論を深める。



(昨年の講演風景)

1. 日時 平成 26 年 7 月 18 日（金）

2. 場所 六ヶ所村文化交流プラザ『スワニー』 大会議室

■ 第 I 部 セミナー 〈 13 : 00-17 : 55 〉 ; 参加無料

【特別講演】

- ・「わが国のバックエンド政策と研究開発」 西田 亮三（文部科学省）
- ・「サイクル・バックエンドの課題と展望」 齊藤 正樹（東京工業大学 名誉教授）
- ・「仏国のバックエンド政策について」 ティボー・クレマン（仏国大使館 原子力参事官補佐）

【基調講演】

- ・「技術の親和性について」 鳥井 弘之（元日本経済新聞 論説委員）

【放射性廃棄物の分離・変換・利用・資源化戦略】

（裏面参照）

【トピック】

- ・「放射線に関する分子生物学的研究」 大川 あおい（日本立地センター/東工大）

■ 第 II 部 懇親会 / ポスターセッション 〈 18 : 00-19 : 30 〉 ; 会費制 （4,000 円）

*施設見学会（同日午前）： むつ小川原国家石油備蓄基地見学（希望者）

主催： 原子力機構 **共催：** 東京工業大学、東北大学
協賛： 日本原燃、原子力バックエンド推進センター
後援： 青森県、六ヶ所村、原子力学会東北支部

【放射性廃棄物の分離・変換・利用・資源化戦略】

(プログラム)

座長：新堀 雄一（東北大学大学院 教授）

(1) 「東北大学六ヶ所村分室における新原子力研究分野の開拓」

- ・含浸吸着材による高レベル放射性廃液の核種分離プロセス

金 聖潤（東北大学 准教授）

- ・放射線高度利用を目指した新しい半導体検出器の開発

人見 啓太郎（東北大学 准教授）

(2) 「元素変換～原子力利用のコペルニクスの転回～」

小澤 正基（東京工業大学大学院 教授）

座長：小澤 正基（東京工業大学大学院 教授）

(3) 「分離変換（ADS 階層型）技術開発の現状」

森田 泰治（原子力機構 原子力基礎工学研究センター 副センター長）

(4) 「マイナーアクチノイド（MA）の分離変換」

中村 博文（原子力機構 福島燃料材料試験部 部長）

(5) 「新型溶融炉の開発－実規模モックアップ試験」

吉岡 正弘（日本原燃株式会社 ガラス固化施設部 部長）

■ お問い合わせ

独立行政法人日本原子力研究開発機構

六ヶ所・核燃料サイクルセミナー事務局（担当：北嶋、広瀬）

電話番号：029-287-9675

E-Mail：be-cycleseminar@jaea.go.jp